

学校間や地域との連携を図り、児童生徒の主体的な活動を推進する

ねがい

〈目的〉

自他のよさを理解し、積極的に周りの人々と交流できる児童生徒を育てるために、集団づくりや地域との関わりを大切にしながら、児童生徒の主体的な活動を推進することにしました。

〈内容〉

つながり

● 小中合同縦割り班での活動

豊島地区連合運動会で、小中合同の縦割り班を編制し、長縄跳び、リレー、玉入れ競技を行いました。長縄跳びで上手く跳べない小学校低学年の児童に声をかけ、励ましながら跳んだり、跳ぶ回数が増えたときには全員で喜びあったりする姿が見られました。



【運動会で長縄跳びをしている様子】

● 地域との連携を図った活動の推進

毎年、夏休み前の日曜日に開催される地区のクリーン作戦に、小・中学生が参加しています。地域の方と一緒に海浜や道路の空き缶、ゴミ拾いをしています。また、豊島公民館まつりでは、小・中学生が合唱や合奏を披露したり、図画工作や習字などを展示したりして、地域の方々に喜んでいただいています。



【地区クリーン作戦をしている様子】

中学生は、ボランティアや生徒が企画・運営して開催する運動会などで豊島にある福祉施設との交流を深めています。

● 集団づくりを推進する活動の充実

小学校では、「全校読書」「全校給食」「こつこつタイム」等で、全校生が一つの教室に集まって様々な活動ができるようにしています。また、朝の活動に、全校生が一つの遊びをする「なかよしタイム」を設定し、楽しく一日がスタートできるようにしています。

中学校では、「全校読書」「全校給食」「質問教室」以外に、「全校道徳」や「人権集会」で、互いの考えを交流する場を設定しています。また、委員会活動や縦割り班活動、部活動等を通して、人間関係を形成する力を培っています。

高まり

〈成果〉

運動会競技や地域との連携を図った活動で、子どもたちは保護者や地域の方から声をかけられる機会が増え、成就感や達成感、地域への所属感をもつことができます。

集団づくりを推進する活動をすることで、緊張感の中で刺激し合いながら頑張ろうとしたり、公共の中でマナーを守ろうとしたりする心が育ってきています。